

【高圧】

様式 1

様式AP2高圧-20150408

平成 年 月 日

## 接 続 検 討 申 込 書

御中

電気事業法等の関係法令、政省令その他ガイドライン、電力広域的運営推進機関の送配電等業務指針及び関係する一般電気事業者の約款・要綱等を承認の上、以下のとおり接続検討を申し込みます。

代表者氏名

住 所 〒

(フリガナ) ( )  
事業者名

申込者氏名 印

(1) 発電設備等設置者名 (フリガナ) (仮称可)	
(2) 発電者の名称 (フリガナ) (発電所名、仮称可)	
(3) 発電設備等設置場所	
(4) 連系先一般電気事業者	
(5) 既設アクセス設備 <sup>※1</sup> の有無	有 ・ 無 ※1. アクセス設備：発電設備等を送電系統に連系するための流通設備
(6) 発電設備等変更の有無	新規・有 [増設・減設・更新・廃止・その他 ( )] ・無
(7) 契約種別 (予定)	<input type="checkbox"/> 接続供給 <input type="checkbox"/> 振替供給[供給先エリア:○○電力エリア] <input type="checkbox"/> 発電設備等連系先の一般電気事業者と受給契約 <input type="checkbox"/> 充電先未定
(8) 連絡先	<b>【連絡先】</b> 住所 〒 事業者名 所 属 担当者名 (フリガナ) 電 話 FAX e-mail
	<b>【技術的事項に関する連絡先 (上記と異なる場合のみ記入)】</b> 住所 〒 事業者名 所 属 担当者名 (フリガナ) 電 話 FAX e-mail
(9) 特記事項	

※電力広域的運営推進機関もしくは一般電気事業者は、本申込書の情報を系統アクセス業務の実施のために使用します。

平成 年 月 日

発電設備等の概要

発電設備等設置者名

1. 希望時期

(1) アクセス設備 <sup>※2</sup> の運用開始希望日	平成 年 月 日
(2) 発電設備等の連系開始希望日 (試運転) <sup>※3</sup>	平成 年 月 日
(3) 発電設備等の連系開始希望日 (営業運転)	平成 年 月 日
(4) 託送供給の終了希望日 (振替供給のみ) [託送供給の希望契約期間]	平成 年 月 日 ・ 希望なし [ 年間 ] _____

※2：アクセス設備：発電場所と送電系統を接続する設備

※3：運転開始前の試運転など、送電系統への送電電力を初めて発生させる希望日を記入ください。

2. 希望受電電圧・予備電線路希望の有無

(1) 希望受電電圧 <sup>※4</sup>	kV		
(2) 予備電線路希望の有無	有 ・ 無		
希望する予備送電サービス	A (予備線) ・ B (予備電源) ( kV)		
予備送電サービス契約電力	kW		

※4 接続検討の結果、希望電圧以外となる場合もございます。

3. 電源種別

火力 一般水力 揚水 原子力 太陽光 風力 地熱 バイオマス その他

4. 発電設備等の定格出力合計<sup>※5</sup>

(1) 変更前	台	kW ( °C)	kW ( °C)	kW ( °C)
(2) 変更後	台	kW ( °C)	kW ( °C)	kW ( °C)

※5：ガスタービン等、外気温により発電出力が変化する場合には、各温度における発電出力を記入ください。

5. 受電地点における受電電力 (送電系統への送電電力)<sup>※6</sup>

(1) 変更前	最大 <sup>※7</sup>	kW ( °C)	kW ( °C)	kW ( °C)
(2) 変更後	最大	kW ( °C)	kW ( °C)	kW ( °C)
	最小	kW ( °C)	kW ( °C)	kW ( °C)

※6：ガスタービン等、外気温により発電出力が変化する場合には、各温度における受電電力を記入ください。

※7：連系地点において、受電電力がない (連系地点からの需要供給のみ) 場合は、0を記入してください。

6. 自家消費電力 (発電に必要な所内電力を含む)

最大	kW (力率 %)
最小 <sup>※8</sup>	kW (力率 %)

※8：発電の有無に拘わらず必要となる負荷設備の容量を記入ください。

7. 再生可能エネルギー電源の固定価格買取制度に関する事項

(1) 接続検討の前提条件として、変更後の発電設備等について、国が定める再生可能エネルギー電源の固定価格買取制度の適用の有無	適用有り <sup>※9</sup> ・ 適用無し
(2) 前項で、「適用有り」の場合において、連系地点における最大の受電電力が全量連系できない場合の検討対象範囲	電源線範囲外の系統増強等を含めた検討 ・ 電源線範囲外の系統増強等を行わずに連系可能な受電電力での検討

※9：適用有りの場合は、固定価格買取制度の適用の条件にて検討。

## 主要設備仕様 (回転機)

発電者名 \_\_\_\_\_

号発電機 \_\_\_\_\_

( 既設 ・ 新設 ・ 増設 )

## 1. 一般

(1) 原動機の種類 (内燃機関, 風力など)	
(2) 発電機の種類 (同期発電機, 誘導発電機)	
(3) 発電機台数	台
(4) 運転可能周波数	~ Hz
(5) 自動電圧調整装置 (AVR) の有無	有 ・ 無
(6) 自動電圧調整装置 (AVR) の定数 (整定値)	

## 2. 昇圧用変圧器

(1) 定格容量		kVA
(2) 定格 1 次電圧 / 2 次電圧		V / kV
(3) タップ切替器仕様	タップ数	
	電圧調整範囲	
(4) %インピーダンス (変圧器定格容量ベース)		%

## 3. 交流発電機

共通事項	容量		kVA	
	定格電圧		V	
	定格出力		kW	
	力率 (定格)	%	力率 (運転可能範囲)	
	FRT 要件適用の有無	有 ・ 無		
同期発電機	(a) Xd (同期リアクタンス)		%	
	(b) Xd' (過渡リアクタンス)		%	
	(c) Xd'' (初期過渡リアクタンス)		%	
	(d) Tdo' (開路時定数)		sec	
	(e) Tdo'' (開路時定数)		sec	
	(f) 慣性定数		sec	
	制動巻線	有 ・ 無		
誘導発電機	(g) x (拘束リアクタンス)			
	限流リアクトル	有 ・ 無	限流リアクトル容量	

※ 1. (a), (b), (c) または, (g) については必ずご記入願います。

主要設備仕様 (直流発電設備等)

発電者名 \_\_\_\_\_

号発電機 \_\_\_\_\_

( 既設 ・ 新設 ・ 増設 )

1. 一般

(1) 原動機の種類 (内燃機関, 風力・太陽光など)	
(2) 発電機台数 (PCSまたは逆変換装置の台数)	台
(3) 運転可能周波数	~ Hz
(4) 自動電圧調整装置 (AVR) の有無	有 ・ 無
(5) 自動電圧調整装置 (AVR) の定数 (整定値)	

2. 昇圧用変圧器

(1) 定格容量		kVA
(2) 定格 1 次電圧 / 2 次電圧		V / kV
(3) タップ切替器仕様	タップ数	
	電圧調整範囲	
(4) %インピーダンス (変圧器定格容量ベース)		%

3. 直流発電機

直流発電装置		逆変換装置 (インバータ)		
直流最大出力		電気方式		
最高使用電圧		定格電圧	V	
通電電流制限値		定格出力	kW	
その他特記事項		力率 (定格)	%	
		力率 (運転可能範囲)		
		主回路方式	自励式 ( 電圧式 ・ 電流型 )	
			他励式	
		出力制御方式	電圧制御方式 ・ 電流制御方式	
			%抑制 ・ その他 ( )	
		絶縁変圧器	有 ・ 無	
			(直流分検出レベル) A	
		最大短絡電流・遮断時間	A・	msec
		F R T 要件適用の有無	有 ・ 無	
	(測定データ)	高周波 (電波障害, 伝導障害) 対策		
		高調波電流歪率 (総合) % (各次最大) 第 次 %		
	その他			

4. 保護継電器等

連系用遮断器 その他機器	機器名称	系	製造者	型式	定格容量	遮断容量	動作時間	備考
	遮断器 ( )				V A	A	サイクル	
	( )				V A	A	サイクル	
	V T				V/ V	—	負担: VA	
					V/ V	—	負担: VA	
	C T				A/5A	過電流強度		
						過電流定数		
P D					pF	Z P D	V/ V	
Z C T					A			

記号	継電器名称	系	製造者	型式	相数	整定範囲	
						電流: 瞬時:	時限:
OCR-H (51R)	過電流	主				電流: 瞬時:	時限:
DGR (67GR)	地絡方向	主				電流: 電圧:	時限:
OVGR (64R)	地絡過電圧	1				電圧: 時限:	
		2				電圧: 時限:	
DSR (67S)	方向短絡	1				電流: 時限:	
						電圧: 時限:	
		2				電流: 時限:	
						電圧: 時限:	
OVR (59R)	過電圧	1				電圧: 時限:	
		2				電圧: 時限:	
UVR (27R)	不足電圧	1				電圧: 時限:	
		2				電圧: 時限:	
OFR (95H)	周波数上昇	1				電圧: 時限:	
						備考	
UFR (95L)	周波数低下	1				電圧: 時限:	
		2				電圧: 時限:	
RPR ※ (67P)	逆電力	1				電力: 時限:	
		2				電力: 時限:	
UPR ※ (91L)	不足電力	1				電力: 時限:	
		2				電力: 時限:	
単独運転検出要素 (受動: )						整定値: 時限:	
単独運転検出要素 (能動: )						整定値: 時限:	

※逆潮流なしの場合

付加機能に関する事項	電圧上昇抑制機能	無	有
	発電機並列時・脱落時の電圧変動抑制機能	無	有
	自動負荷遮断装置	無	有
	自動同期検定装置	無	有
	その他		

電圧 %, 周波数差 Hz  
位相差 度, 前進時間 s

平成 年 月 日

発電設備仕様 (二次励磁巻線形誘導機)

発電設備設置者名

号発電機

( 既設 ・ 新設 ・ 増設 )

1. 全般

(1) 原動機の種類 (風力など)	
(2) 発電機台数	[台]

2. 交流発電機

(1) メーカー・型式	【メカ】	【型式】
(2) 電気方式	三相 3 線式 ・ 单相 3 線式 ・ 单相 2 線式	
(3) 定格容量	[kVA]	
(4) 定格出力	[kW]	
(5) 定格電圧	[kV]	
(6) 力率	定格	[%] 運転可能範囲 遅れ [%]～進み [%]
	調整範囲	力率設定範囲 : [%]～ [%] 力率設定ステップ : [%]
(7) 定格周波数	[Hz]	
(8) 連続運転可能周波数	[Hz] ～ [Hz]	
(9) 運転可能周波数 ( 秒)	[Hz] ～ [Hz]	
(10) 系統並解列箇所	添付 様式 5 の 4 参照	
(11) 自動的に同期がとれる機能の有無	有 ・ 無	
(12) 誘導発電機諸定数 (基準容量 kVA)		
(a) 拘束リアクタンス	( $X_L$ )	[%]
(13) 二次励磁装置種類		
(a) 主回路方式	他励式インバータ ・ その他 ( ) 電圧型 ・ 電流型	
(b) 出力制御方式	電圧制御方式 ・ 電流制御方式	
	PWM ・ PAM (サイリスタ)	
(14) 事故時運転継続 (F R T) 要件適用の有無	有 ・ 無	
(15) 高調波電流歪率	総合	[%]
	各次最大	第 次 [%]

【留意事項】

- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入して下さい。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

平成 年 月 日

## 発電設備仕様（逆変換装置）

発電設備設置者名

号発電機

（既設・新設・増設）

## 1. 全般

(1) 原動機の種類（風力，太陽光など）	
(2) 台数（逆変換装置またはPCSの台数）	[台]

## 2. 逆変換装置

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 電気方式	三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
(3) 定格容量		[kVA]
(4) 定格出力		[kW]
(5) 出力変化範囲	[kW] ~	[kW]
(6) 定格電圧		[kV]
(7) 力率（定格）		[%]
(8) 力率（運転可能範囲）	遅れ	[%] ~ 進み [%]
(9) 定格周波数		[Hz]
(10) 連続運転可能周波数		[Hz] ~ [Hz]
(11) 運転可能周波数（秒）		[Hz] ~ [Hz]
(12) 自動電圧調整機能	進相無効電力制御機能・出力制御機能・その他（ ）	
(13) 自動同期検定機能（自励式の場合）	有 ・ 無	
(14) 系統並解列箇所	添付 様式5の4 参照	
(15) 通電電流制限値		[%]
		[sec]
(16) 主回路方式	自励式（電圧形 ・ 電流形）	
	他励式	
(17) 出力制御方式	電圧制御方式・電流制御方式・その他（ ）	
(18) 事故時運転継続（FRT）要件適用の有無	有 ・ 無	
(19) 高調波電流歪率	総合	[%]
	各次最大	第 次 [%]

## 【留意事項】

- 異なる仕様の逆変換装置がある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入してください。
- 電圧変動の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

負荷設備および受電設備

1. 負荷設備

(1) 合計容量		kW
(2) 総合負荷力率		%

2. 受電用変圧器

(1) 定格容量		kVA
(2) 定格電圧		
(3) タップ切換器仕様	タップ数	
	電圧	kV
(4) %インピーダンス (変圧器定格容量ベース)		%
(5) 台数		台

3. 調相設備※1

(1) 種類		
(2) 電圧別容量	高圧	
	低圧	
(3) 合計容量		
(4) 自動力率制御装置の有無		有 ・ 無

※1. 「総合負荷力率」に調相設備を含む場合は不要

4. 高調波発生機器 ( 有 ・ 無 )

※高調波発生機器を有する場合には、「高調波抑制対策技術指針 (IEAG9702)」の高調波流出電流計算書を添付してください。

5. 電圧フリッカ発生源 ( 有 ・ 無 ) 電圧フリッカ対策 ( 有 ・ 無 )

対策設備の概要

※電圧フリッカ対策有の場合は資料を添付してください。

6. 特記事項

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名 \_\_\_\_\_

主発電機系ブロック  
— 励磁系 —

※系統安定度の確認が必要な場合には、ご提出をお願いする場合があります。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名 \_\_\_\_\_

発電機制御系ブロック図  
ー ガ バ ナ 系 ー

※系統安定度の確認が必要な場合には、ご提出をお願いする場合があります。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名 \_\_\_\_\_

設 備 運 用 方 法

－ 発電機運転パターン，受電地点における受電電力パターン －

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名

単線結線図

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名 \_\_\_\_\_

設備配置関連  
ー 主要設備レイアウト図 ー

※計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所がわかるよう記載下さい。  
※計量器・通信端末設備の設置仕様(壁掛け・自立盤)が決まっていれば、記載下さい。  
※通信ケーブルの引込ルートの指定があればわかるよう記載下さい。

縮 尺

1 /

(必ずご記入ください)

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名 \_\_\_\_\_

設 備 配 置 関 連  
— 敷 地 平 面 図 —

縮 尺

1 /

(必ずご記入ください)  
縮尺は1/25,000か1/50,000として下さい。

※計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所がわかるように記載してください。  
※通信ケーブルの引込ルートが指定があればわかるように記載してください。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名 \_\_\_\_\_

発電場所周辺地図

縮 尺

1 /

(必ずご記入ください)  
縮尺は1/25,000か1/50,000として下さい。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名

---

工 事 工 程 表